

令和6年年頭所感

日時：令和6年1月4日 13時00分
場所：本庁舎2階庁議室

青森市長 西 秀記

1 はじめに

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2 令和6年能登半島地震について

年末年始は雪もなく、市民の皆さんは御家族とともに穏やかなお正月をお過ごしになられたと思います。

その一方で、元日に発生した「令和6年能登半島地震」により、亡くなられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。被災地では長期避難が見込まれており、青森市としても、被災地の要請などを踏まえて、適切な支援を行ってまいりたいと考えております。

3 物価高騰対策について

さて、長引く物価高騰により、地域経済は厳しい状況が続いております。

昨年末の第4回定例会において御議決いただきました、物価高騰に係る住民税非課税世帯への生活者支援や、子ども食堂等を運営している団体、医療・福祉施設及び一般公衆浴場、農林水産業を営む

一次産業者、中小企業者等、商店街振興組合及び商店会、町会及び町内会、交通事業者・トラック等運送事業者、宿泊事業者への事業者支援につきましては、速やかに取り組んでまいります。

また、昨年、全ての市民の生活を応援するため、市民一人当たり3,000円分の「青森市生活支援商品券」を配付いたしました。商品券の利用期間は2月29日（木）までとなっておりますので、市民の皆様におかれましては、ぜひこの「青森市生活支援商品券」を物価高騰に対する家計負担の軽減に御活用いただきたいと思います。

4 新たなまちづくりについて

令和6年も、市内各地域の特色を生かしながら、新たなまちづくりを進めてまいります。

【青森駅周辺地区】

青森駅周辺地区では、官民一体となったまちづくりに取り組んでおりますが、中新町山手地区における再開発事業では、昨年6月にホテルやオフィス、商業施設からなるウエスト棟が完成し、来月には分譲マンションと商業施設からなるセンター棟が完成予定となっております。

春にはJR青森駅東口ビルに「青森市民美術展示館」などの行政施設や商業施設が、夏には上層階に地元企業による健康型ホテルが開業予定となっており、賑わいづくりの拠点、文化の発信拠点、健康づくりの拠点になるものと考えております。

また、旧青森国際ホテル跡地地区での再開発も進行しておりますが、今後は、整備が進むこれらの拠点同士を結びつけることで、回遊性の向上によるまちの活性化につなげ、青森駅周辺地区の更なる賑わいの創出を図ってまいります。

【青森操車場跡地周辺地区】

また、青森操車場跡地周辺地区において整備を進めてきた青森市総合体育館は、施設の愛称を「カクヒログループ スーパーアリーナ」として7月に供用開始となり、市民の健康づくりとスポーツ振興、交流人口の拡大や防災の拠点となります。

【誘客に繋げる立体観光の推進】

昨年の青森港へのクルーズ船の寄港数は、コロナ前よりも多い、過去最多の35回となり、東北地方で最多となりました。今年は、昨年を上回る42回の寄港や国際定期便の再開が予定されており、インバウンド需要の獲得や、青森空港、青森港、新青森駅という本市が有する交通結節点機能を生かした立体観光推進の観点から、国や県、関係団体と連携を図りながら、トップセールスを行うなどクルーズ船の寄港数増加も含め取り組んでまいります。

【アートを核とする新たな観光振興】

今年の4月から9月にかけて、芸術文化の普及、振興のほか、県内外からの多くの誘客を図ることを目的に、青森県内にある5つの美術館・アートセンターを中心に、「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」が初開催されます。開催期間中は、地域に根差して活動する各館のキュレーターが協働し、展覧会やプロジェクト、パフォーマンスなど、それぞれの館の特徴を活かしたプログラムが企画され、多様なイベントが仕掛けられることから、来県・滞在する観光客の増加に向けた周遊促進を図ってまいります。

また、本市においても、「ねぶたアートフェスティバル 2024」と題した、ねぶたの技法を活かしたクラフトアートイベントを開催することとしております。ねぶた師の方々の御協力をいただきながら、ねぶたアート作品を作成し、本市独自の新たな文化芸術の創造を目指します。

5 結びに

本市では、市民所得の向上や雇用促進など地域経済の活性化を図ることを目的に、昨年8月に「青森市しごと創造会議」を開催し、産学金官の共創による今後の新しい産業振興の具体的な戦略について検討を進めており、本年秋頃を目途に「(仮称)青森市しごと創造戦略」として取りまとめることとしております。

また今年も、「市民力+民間力 AOMORI 次なる舞台へ」のスローガンのもと、「みんなで未来を育てるまち」青森市の創造へ向けて、その「新たなまちづくり」の基本となる総合計画を改定することとしております。

赤坂 副市長、そして昨年12月27日付けで就任しました 横山 副市長との3人体制で、今後も引き続き、本市の更なる発展を目指してまいりますので、皆様の市政に対するより一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。